

(1) 学習のねらい

(2) 本時の学習材

- 泥団子づくりの経験を思い出し、ひび割れの理由を考え伝えていこう。その意識を捉えたところで本学習材を提示する。
- 本学習材は、ひびの有無がある泥団子の制作過程における違いがわかる写真や動画である。この写真や動画を提示することによって、泥団子のひび割れの原因を捉えていこう。そして、自分たちで動画から作業の様子を見て、泥団子を握りしめることの重要性に気づき、ひび割れが生じない泥団子作りに取り組むことが期待できる。

(3) 学習の展開

学習材

写真、動画

		団子をつくりたい。		評価 粘土質過ぎないことや水分を出すことの重要性を感じ、泥団子づくりに活かそうとしていることを子どもたちの発言や活動の様子から評価する。
--	--	-----------	--	--